

ふれあい支援農道ウォーキング大会

歩いてみよう♪

9月23日(日)、「ふれあい支援農道ウォーキング大会」が開催されました。

ふれあい支援農道は、農業振興や交流の拡大による中山間地域の活性化を目的に、県が15年の歳月をかけ整備した酒田市の里山エリアを結ぶ農道です。この完成を記念したイベントとして、酒田市主催で、ウォーキング大会が行われました。

コースは、旧八幡・平田・松山町の温泉施設をゴールとした3コースです。

曇り空の中でのウォーキング大会となりましたが、各コースとも皆さん、汗をかきながらのゴールとなりました。また、通ったことのない道だったので、こんな道路があったのか！や、こんなところにため池があったのか！という新たな発見の場にもなったようです。

次回開催については、まだ未定ですが、もし来年も開催となりましたら、ぜひ皆さんも一緒に参加してみませんか？

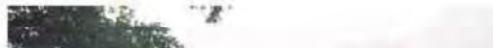
○ゆりんこコース(八幡)：距離 8.8 km



○アイアイコース(平田)：距離 7.3 km



○おんさんコース(松山)：距離 4.2 km



なんていう魚？

庄内町余目第一小学校の総合学習の一環として、10月2日に魚の学習会が行われました。

NPO家根合生態系保全活動センターが中心となり、家根合揚水機場のファームポイントを利用して、4年生38名が魚を捕獲し、魚類などについて学習しました。

この日は15種類の魚類及び貝類が捕獲され、最上川土地改良区職員が先生となり説明して頂きました。

捕獲された魚はギンブナ、コイ、カワヤツメ、タモロコ、モツゴ、オイカワ、ウケクチウグイ、ドブガイなどで保全池に放流されます。



家根合にはどんな魚がいるのかな？
揚水機場で魚の学習会
平成24年10月2日

家根合の水田を潤す 家根合揚水機場ファームポイントでは、NPO家根合生態系保全活動センター主催の魚の学習会が毎年実施されており、庄内町立余目第一小学校4年生の子どもたちが自然とふれあう場を提供している。

今年も雨があふれ回ったので、魚は多いようです。どんな魚がいるのか探さえて観察しましょう。

マダカSOS1号つと、楽しんで作業しましょう。

入場口に立つ前に、みんなで記念撮影

作業開始！

捕獲された魚を観察（15種）

魚の種類	特徴
ギンブナ	...
コイ	...
カワヤツメ	...
タモロコ	...
モツゴ	...
オイカワ	...
ウケクチウグイ	...
ドブガイ	...

絶滅危惧種
「ももこの里」にいた魚

絶滅危惧種
「川で遊ばれて海で育ち、川に戻ってくる魚」

子どもたちの感想
- 捕まえた魚の仲間を認めることができよかった。
- 去年で魚をさわめる機会がはじ、確認できずは捕獲ができた。
- 家根合に絶滅危惧種がいるなんて、知らなかった。
- これからは、自然環境について考えて生活したい。

魚の仲間について説明
(最上川土地改良区 役員主宰)

庄内町家根合地区のメダカ水田で、春先田植えを行った余目第一小学校6年生による稲刈り体験が10月4日に行われました。当日は、長袖では少し暑く感じられる程暖かい日で、最初に「めだか米栽培こよみ」で、これまでの作業を振り返りました。その後、皆で鎌を持ち地元の方に指導して頂きながら稲を刈ったり、杭に掛ける作業を行いました。子供達からは「ワラで結ぶ作業を始めてやった。難しかったけど、やっと慣れた」というような感想を聞くことができました。



天候に恵まれて
“めだか米” 稲刈り
 平成24年10月4日

5月28日に庄内町立余目第一小学校6年生が手植えした「めだか水田」は、実りの季節を迎えた。さわやかな秋晴れのなか、NPO家根合生態系保全活動センターが中心となり、めだか米生産者、庄内町、最上川土地改良区、農務関係者で、おまつりの雰囲気、お餅つき作業を体験した。めだか米の稲刈り作業体験は、平成18年から毎年企画されているが、秋雨や台風で実施できず、今年で実質4回目。

今年秋実りに豊稔れ、稲刈り日程

作業内容	作業時間	作業場所
稲刈り	10月4日(日) 9:00~12:00	庄内町家根合地区 余目第一小学校
お餅つき	10月4日(日) 13:00~15:00	庄内町家根合地区 余目第一小学校
稲刈り体験	10月4日(日) 16:00~18:00	庄内町家根合地区 余目第一小学校

「めだか米栽培こよみ」で、これまでの作業を振り返る。今年から「ワラで結ぶ」作業が追加された。

再度やってる「ワラで結ぶ」作業

さあ作業開始！

ではあがり！

＜子どもたちの感想＞
 「慣れるまで戸惑ったけど、コツをつかんだら手早くやれた。ワラで結ぶ作業も初めてやった。難しかったけど、やっと慣れた。稲刈り作業、5年生以来2回目。楽しかった！」
 ＜NPOより＞ この中から農業後継者になってくれることを期待！！

大鳥タキタロウ村のイベント

大鳥タキタロウ村

秋のキノコ祭り

期 日 平成24年10月28日(日) 9時50分～ (雨天決行・雨具持参)
 会 場 鶴岡市大鳥自然の家(鶴岡市大鳥字寿岡112) (地図PDF⇒91.5KB)
 参加費 大人 1500円 子供 700円 幼児無料

9:30 受付開始(ナメコはじめキノコ類の販売予定)
 9:50 開会セレモニー(自然の家体育館)
 10:20 トレッキング・栗拾い・大根・カブ採取
 11:50 交流昼食会(自然の家食堂)
 可能であれば「焼き栗」も
 魚釣り(希望者・1匹400円 塩ふり焼き)
 但し、魚は各自釣ることを原則。※釣竿準備しますが、持参も可。
 釣り完了から焼き上げ完成まで2時間程度。
 釣りの方は12:30から釣り開始。
 10:00 松平山登山・自然散策 (希望者 雨天中止)
 15:00 閉会(自由解散)

錦秋の秋、大自然の中で楽しいひと時を 大鳥タキタロウ村「キノコ祭り」のご案内

タキタロウ村民 各位
 猛暑の夏もようやく過ぎ、時折爽やかな秋風が吹く季節となりました。
 皆様におかれましては、甚々ご健勝のことと存じます。
 さて、今年も「キノコ祭り」の時期となりました。村民の交流を深めながら
 自然の恵を味わい、ほろほろと野趣を立えました。
 さて、さまざまな村視察、満10年になりご承知の通り、昨年度は「ゆたかな
 村づくり東北助成金」を受賞しました。これまでのご理解とご協力
 により、ここまで力をつけることができました。心から感謝しています。
 ご多忙の中とは存じますが是非ご参加くださいますようお願いいたします。
 大鳥タキタロウ村長 大滝清策

記
 1. 期 日 平成24年10月28日(日) (雨天決行・雨具持参)
 2. 会 場 大鳥自然の家 大鳥タキタロウ村周辺
 3. 日 程
 受付 9:30 ナメコはじめキノコ類の販売予定。
 午前 9:50 開会セレモニー (自然の家体育館)
 10:20 トレッキング・栗拾い・大根・カブ採取
 11:50 交流昼食会(自然の家食堂)
 可能であれば「焼き栗」も。
 宴会のメニュー(秋の味覚)を考えています。
 魚釣り(希望者・別料金)
 (釣り完了から焼き上げ完成まで2時間程度
 釣りの方は12:30から釣り開始)
 10:00 松平山登山・自然散策 希望者(雨天中止)
 15:00 閉会(自由解散)

* 今年も、久しぶりに大鳥大根を植栽しました。収穫を待っています。
 < 栗の賞 今年はどうか？昨年度はトータル300kgの収穫がありました。
 収穫までに数ヶ月の経過がなければと心配していますが、
 <参加について>
 ○ 参加希望の有無は両対のハガキです。不参加の方も返信をお願いします。
 返信締切り10月30日(土)必要 問い合わせ 0235-23-6537 大滝
 ○ 参加経費 大人1,500円 子ども(小学生)700円 幼児 無し

- 本日はアルコールを飲まず、飲酒運転は厳禁です。必要の方は各自用意することと運転手の確保をお願いします。
- 魚釣り 一匹400円(塩ふり焼き)但し、魚は各自釣ることを原則。
 * 釣竿準備しますが、持参も可能(但し折れないようにご注意ください)
- 大鳥線遠軽荒沢トンネル完成。交通安全に配慮して参加してください。
- 運賃の無い方があります。送金ご希望の方は、送金欄に記入ください。
 (運賃表の経費が毎回更新になっています。会費の納入もお願いします。)

<タキタロウ村の近況報告>



大鳥タキタロウ村って？

大鳥地区の過疎化に伴っての地域活性化に向けた村づくり
 大鳥の大自然の恵み(山菜・キノコ類の紹介、大自然に触れる活動の紹介
 地域を活用した活動の紹介、村民同士の交流の場の設定、大鳥タキタロウ村
 オリジナルの料理の紹介、希望者による栽培活動の提供など多岐にわたる)を
 活用した村

村民になるには？

現在の村民の数は200名を超えます。一家族代表一名の登録であり、
 年間一家族何人参加しても年間500円の通信費をいただいています。
 村民構成は、地元をはじめ、県内、東京、群馬、栃木と各県にまたがっています。

入村希望の方は、事務局(大鳥自然の家 0235-55-2946)まで

白鳥

白鳥飛来! 冬の足音?

10月8日に昨年より4日遅く冬の使者、白鳥の第一陣が飛来しました。
冬が一步一步近づいて来てますね。ついこの前まで、「猛暑だ。熱中症だ。」なんて
言っていたのに季節の移り変わりは早いものです。

稲刈りも終わり、あちらこちらで、収穫祭が行われます。

木々の葉っぱも徐々に色づき始め、美しい風景を見ながら美味しい食べ物を探し、
秋を楽しみましょう♪



里山を歩こう！トレッキングコースの整備

秋の訪れとともに、里山でのトレッキングが各地で開催されます。安全で快適に楽しむためには、コースの整備が欠かせません。多くは地元の方が中心にボランティアで行っていますが、そうした中の一つである六十里越街道の整備に参加しましたのでその様子を紹介します。

今回は、鶴岡市松根と大綱の間にある十王峠での木階段の整備で、六十里越街道の保全と活用に取り組むアルゴディア研究会とアルゴディア苦楽歩が実施しました。

木階段は、杉の間伐材を使用した本格的なものです。スコップや金テコで支柱の穴を掘り、掛矢で打ち込み、埋め戻しました。積雪が3mにもなるので、雪の影響も考え設置しなければなりません。こういった点は、地元の農家の方が頼りで、農作業や集落での共同作業の経験が生きているのかなと感じたところです。

作業は、昼をはさんで約4時間かかりましたが、昼食は峠から月山を眺めながら芋煮を楽しみました。昔の旅人もこんな風に、峠の茶屋で疲れを癒したのでしょうか？



作業開始



峠で芋煮 (峠を挟んで旧道に戻ります)



支柱の穴掘り



月山の眺め



支柱の打ち込み



設置完了

しな織姫による実演も

10月20日、21日に鶴岡市関川しな織りセンターと近隣の広場で「しな織り祭り」が開催されました。

しな織製品の展示販売の他、しな織の体験やしな縄細工など、子供から大人まで体験できるコーナーもありました。

その他、地元でとれた農産物の販売もあり、その中でも「とち餅」は大人気で並んで買う人が見られたほどです。

しな織（布）は国の伝統的工芸品に指定されています。まだご覧になったことがない方はぜひ一度手にとってみてください。



♪ 秋の恵み ♪

鶴岡市大鳥のタキタロウ村で、10月28日(日)に秋の「キノコ祭り」が開催されました。

参加者は約90名。みんなで栗拾いや大根、からとり芋の収穫を楽しんだ後、地元の食材を使ったナメコ汁や栗おこわ、ニジマスの塩焼きや焼き栗などを堪能しながら交流を図りました。

今年も栗は豊作とのことでしたが、サルに食べられたのかきれいな栗を探すのは少し根気がいりました。

また、ここの大根は生で食べてもおいしく、11月に開催予定の「新ソバ祭り」で食べることができるのではないかと期待しています。

からとり芋は大人でも泥の中から持ち上げると、根に付いた泥を落とすのが一苦労でした。中には食べ方がわからないという人もいて、わかる人に聞きながら帰って料理してみようと楽しみに持ち帰っていきました。



【 栗拾い 】



【 大根の収穫 】



【 からとり芋の収穫 】



【 昼食の様子 】

みなさん次回の「新ソバ祭り」等に参加したい方は、ぜひ鶴岡市大鳥自然の家(TEL:0235-55-2946)にお問い合わせください。

2月には「冬祭り」の予定。お楽しみに！

暮坪の棚田からの風景

青々としたカブ畑の奥には、広大な海、またその奥には粟島がくっきりと映し出されています。

これは鶴岡市暮坪の棚田から見た風景です。

田んぼの風景もきれいですが、場所によっていろいろな風景を見ることができます。この温海地域は赤カブも多く栽培されていて、漬物なども有名です。ぜひ「食」でもお楽しみください。



越沢新そば祭り

2日間で550人！

鶴岡市越沢の「まやのやかた」で、11月3日、4日に「新そば祭り」が開催されました。

参加者は2日間で約550名(去年は500名ほど)。地元の他、県外ナンバーの車も見られ、リピーターも多いそうです。



越沢地区は「やまがたの棚田20選」にも認定されていて、今年、棚田や郷清水(ごうしみず)への行き方を示した案内板や、農道途中に道しるべの設置などを行いました。

これは県の事業を活用して住民の意見を取り入れながら地元で設置したもので、今後棚田を見渡せる場所に東屋を設置したり、駐車場の整備なども行いたいという地元の声があります。このような声が聞かれたことは県として大変嬉しく思っています。

これから地域を訪れる人が増え、他地域の方々との交流が益々増加することを期待しています！



【案内板「まやのやかた」の前にあります】



【現在の棚田の様子】

大自然に生かされて(研修会)

庄内管内中山間地域等直接支払制度研修会の開催

中山間地域等直接支払制度や耕作放棄地対策事業の説明や、集落協定の取組状況など、庄内管内で本制度を実施する集落協定代表者等を対象とした研修会を開催します。

日 時 平成24年11月21日 (水) 14:00～16:00

会 場 庄内総合支庁 4階 講堂

内 容 『中山間地域等直接支払制度のH25拡充事項及び耕作放棄地対策』
山形県農林水産部 農山漁村計画課 地域資源振興主査 矢矧 渉

事例報告① 『強い手と連携した小規模・高齢化集落への支援』

西川町 大井沢集落協定 代表 田村 政一氏

事例報告② 『中山間地域の農地と人を次の世代へ』

鶴岡市 (旧朝日) 中村集落協定 代表 渡部 一弘氏

事例報告③ 『中山間地域の集落営農組織』(コントラクター)による耕畜連携
推進の取組みについて

酒田市 (旧八幡) 三ヶ字集落協定 代表 阿曾 千一氏

これからの農業を考えているみなさん、ぜひ参加してみてください。

加茂の取組

まち歩きとワークショップ

鶴岡市の加茂地区で10月14日(日)と11月11日(日)に、案内板設置に関わる「まち歩き」とワークショップが開催されました。



【10月14日「まち歩き」の様子】



【11月11日ワークショップの様子】

地区外の人に来てもらうための第一歩として、案内板をどこに設置したらいいか、どんな内容を書けるか、どんなデザインがいいかなど、まち歩きの結果からみんなで意見を出し合いました。

地元の加茂水産高等学校の先生や生徒からも参加して頂き、若い人が増えたことで、さらにいろいろな見方、考え方を共有することができています。これからもぜひ参加して頂き、活発な意見を期待したいと思います。

願いを込めて…

11月24日(土)、鶴岡市の七五三掛(しめか)地域の関係者によるシダレザクラの植栽が行われました。

全国的にも話題となった地すべりで、被害に遭わなかったシダレザクラの枝を接ぎ木し、1mほどになった苗木21本を住宅跡地等に植栽しました。

七五三掛シダレザクラの会が主催となり、会員や関係者約30名で支柱の設置や苗木の固定、埋め戻しなど一連の作業を行いました。

当日は山形新聞、荘内日報、YTS等の報道関係者も取材に来ていて、インタビューをされた方もいらっしゃいます。

大きく丈夫に育ち、桜の花が見事に咲くことをみんなで願っています。



【苗木】



【左上が苗木の元になったシダレザクラ】



【作業の様子】

地元のそば粉で

地産地消としても

11月25日(日)に鶴岡市大鳥の「大鳥タキタロウ村」で新そば祭りが開催されました。この日の参加者は約50名。大根の収穫や希望者によるそば打ち体験の他、昼食には打ち立てのそば(板そばとなめこそば)をいただきました。

そばは地元産「でわかおり」100%のそばで、当日は打ったそばの販売も行っています。大根もこの地域のものは甘く、生で(味噌やマヨネーズなどをつけて)食べてもおいしい大根です。どちらもおすすめ！

次回は2月上旬に雪祭りの予定です。イベントや昼食の内容はまだわかりませんが、イベントに参加してみたいという方は、鶴岡市大鳥自然の家(電話0235-55-2946)までご連絡願います。

その時期に楽しめる内容で、さらにおいしいものも堪能できると思いますよ。



《まもなく雪が…》



《大根の収穫体験》



《そばをみんなで》



《そば打ち体験の様子》



収穫感謝祭

打ちたて！ゆでたて！

因幡堰土地改良区の田んぼの学校「収穫感謝祭」が12月2日(日)に開催されました。

今年もみんなでそばを打ち、自分達でゆでて、ゆでたてをいただきました。

そばのタレにはお好みで、鶏肉やねぎ、大根おろしなどを加え、それぞれの切り方、ゆで方で楽しむことができました。



〔準備♪準備♪〕



〔まぜるよ～〕



〔こうやってのばすんだよ〕



〔みんなでそば打ち〕



〔上手に切ってね～〕



〔味はどうか？〕

この他、輪投げ大会や今年田植えをして収穫したお米の収量クイズなどを行いました。正解者用にたくさんの景品を準備していただいたおかげもあり、大変盛り上がりましたよ。

最後に”運試し”として、理事長とじゃんけんをして勝った人へお米のプレゼントもありました！

引き続きまた来年を楽しみにしています。

槇島ほうき

ほうき作り体験

12月1日(土)・2日(日)、庄内町余目第三公民館で、庄内町槇島地区で作られている「槇島ほうき」のほうき作り体験が行われました。

これは、「ほうき」の材料となる「キビ」の定植や刈り取りに参加した「槇島ほうき応援隊」を対象としたもので、「槇島ほうき」を身近な道具として手にしてもらふこと、お手伝いへのお礼を兼ねて開催したものです。

槇島地区には、彩り豊かで20年は保つという「ほうき」作りの技術があります。

2日は約30名が参加し、講師の手ほどきを受けながら、自分だけのほうき作りを楽しみました。

- 【手順】① 堅く乾燥したキビを木槌で柔らかくする。→② キビを5本ずつたこ糸で束ねる。
→③ 束ねたものを4束、穂先を平らに揃える。→④ 柄の部分をつたこ糸でゆるい円錐状に束ねる。→⑤ 穂の部分を整う。→⑥ 柄の上に帽子を付ける。



① 木槌で柔らかくする



②③④ たこ糸で束ねる



⑤⑥ 穂先を揃い、帽子(布)を付ける



出来上がったほうき

今回は小さい型の「ほうき」でしたが、出来上がったものは一つとして同じものは無く、すぐに自分のものが分かるほど多彩に出来上がりました。



参加者のみなさん



槇島ほうきの見本(左端が今回作成した型)

今年の活動状況は、インターネットで、「槇島ほうき応援隊」で検索すると詳しくご覧いただけます。来年の6月頃から参加者を募集する予定です。

めだか米給食

いただきます！

12月13日、庄内町立余目第一小学校の生徒が、田植え、メダカの放流、稲刈りを体験し、杭がけ乾燥しためだか米の給食試食会が行われました。

児童からは「あまい」、「もちりしてる」、「自分達で田植えから稲刈りまでしたので美味しい」というような、いつもの給食との違いを実感している声が多く聞かれました。



めだか米を提供して頂いた「NPO家根合生態系保全活動センター」では、12月上旬、東京の小売店において直接販売を行ってきたそうです。

当日は家根合から持参したメダカの展示や試食も行い、消費者には安全で美味しいお米だということをアピールでき、売れ行きも好調だったようです。

白銀の世界in大鳥

冬祭り

期 日 平成26年2月3日(日)午前10時～午後3時

日 程 10:00 自然の家 受付完了
開会行事
10:30 カンジキハイキング活動
※ハイキングに不参加の方は、焼き栗・雪遊びなど
12:00 昼食
13:30 活動開始(希望する会場へ移動する)
(雪遊び・〇〇液・△△汁を楽しむ)
15:00 全日程終了

参加費 (昼食代 △△汁代 〇〇液 その他 諸経費全て含む)
大人1,200円 小学生・幼児500円

<鶴岡市いきいきまちづくり事業>

大鳥村々々村「冬祭り」ご案内

白銀の世界in大鳥

大鳥タキタロウ村・村民各位

大鳥タキタロウ村長 大滝清策
大鳥自然の家所長 大滝興一

新年を迎え村民の皆様には益々ご健勝のことと存じます。
日頃より、皆様のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
心より感謝申し上げますとともに、今年も宜しくお願い致します。
さて、恒例により今年も「冬祭り」を計画させていただきました。
現在の予定では「かんじきハイキング体験、そり遊び、スノーモビル遊び、
タキタロウ村オリジナルの△△汁・〇〇液」等、計画しています。多数の
ご参加を期待しています。

(尚、積雪により内容が変更する場合があります。)

<参加内容> *詳細の活動・参加経費は以下を参照してください。

会場 (大鳥自然の家・タキタロウ村周辺)

*服装は長靴・防寒着、着替えの準備を。(厳寒でも実施)

- 期 日 平成25年2月3日(日) 午前10時～午後3時
- 日 程 10:00 自然の家 受付完了
「故郷」「朝日音頭斉唱」
開会行事 村長歓迎の挨拶
・カンジキハイキング準備完了
10:30 ①カンジキハイキング活動
*ハイキングに不参加の方は、焼き栗・雪遊び
など
12:00 ②昼食
13:15 昼食終了
13:30 ③活動開始(希望する会場へ移動する)
(雪あそび・〇〇液 △△汁を楽しむ)
14:50 帰宅準備
15:00 全日程終了

☆ 大鳥地区の皆さんは、2月3日(日) 午前8時30分まで自然の家に集合
してください。

☆ 参加者が30名以下の場合は、中止となる場合がありますのでご容赦
ください。(中止の場合は参加者希望の方へ電話でご連絡いたします。)

☆ これまでの実績から考え、「マイクロバス」は、準備しません。

- 参加費 (・昼食代・△△汁代 〇〇液 その他 諸経費全て含む)
○大人1,200円 ○小学生・幼児500円

大鳥タキタロウ村って？

大鳥地区の過疎化に伴っての地域活性化に向けた村づくり
大鳥の大自然の恵み(山菜・キノコ類の紹介、大自然に触れる活動の紹介
地域を活用した活動の紹介、村民同士の交流場の設定、大鳥タキタロウ村
オリジナルの料理の紹介、希望者による栽培活動の提供など多岐にわたる)を
活用した村

村民になるには？

現在の村民の数は200名を越えます。一家族代表一名の登録であり、
年間一家族何人参加しても年間500円の通信費をいただいています。
村民構成は、地元をはじめ、県内、東京、群馬、栃木と各県にまたがっています。

入村希望、冬祭り問合せの方は、事務局(大鳥自然の家 0235-56-2946)まで

「頑張ろう東北！がんばろう山形県！」

庄内のおいしさいっぱい！

【農林水産庄内加工品フェア】

期 日 平成25年1月26日(土)・1月27日(日)
9:30~18:00

会 場 Aコープみどり店 (酒田市曙町)

Aコープふじしま店 (鶴岡市藤島)
さかたチラス

ふじしまチラス

農家が育てた

庄内農林水産加工品フェア

1/26(土)・27(日)
9:30~18:00
会場: Aコープみどり店 (酒田市曙町)

庄内のおいしさいっぱい! 手づくり加工品大集合

<p>(有)マルエン</p> <p>・お餅まき</p> 	<p>鳥屋モロヘイヤ加工</p> <p>・モロヘイヤうどん ・モロヘイヤのたまり ・お餅まきモロヘイヤ</p> 	<p>菜来 人</p> <p>・ぶくあん漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 
<p>さけまさ増殖加工資源センター</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	<p>かねしげ</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	<p>庄内ベリーの会</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 
<p>おばこグループ</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	<p>ふるの工房</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	<p>萌葉工房</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 

地元のおいしさ、届けます！

わたしたち『庄内農産加工研究会』は、庄内の食文化を大事にし、地元で採れた材料を活かして加工品を作っています。手作りの庄内のおいしさを、どうぞご賞味ください。

農漁家が育てた

庄内農林水産加工品フェア

1/26(土)・27(日)
9:30~18:00
会場: Aコープふじしま店 (鶴岡市藤島)

庄内のおいしさいっぱい! 手づくり加工品大集合

<p>佃産直あぐり</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	<p>味工房 結</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	<p style="writing-mode: vertical-rl;">地元のおいしさ、届けます！</p> <p>わたしたち『庄内農産加工研究会』は、庄内の食文化を大事にし、地元で採れた材料を活かして加工品を作っています。手作りの庄内のおいしさを、どうぞご賞味ください。</p>
<p>産直あさひ・グー</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	<p>ふるの工房</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	
<p>萌葉工房</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	<p>おばこグループ</p> <p>・お餅まき漬 ・お餅まき漬 ・お餅まき漬</p> 	

『庄内農産加工研究会』は、庄内の食文化を大事にし、地元で採れた材料を活かして加工品を作っています。手作りの庄内のおいしさを、どうぞご賞味ください。

自然のおいしさです！

1月26日(土)、27日(日)に酒田市曙町のAコープみどり店と鶴岡市藤島のAコープ藤島店の2会場で【庄内農林水産加工品フェア】が開催されました。

… 酒田会場の様子…



会場では、『庄内農産加工研究会』の方々が地元で採れた材料を活かし漬け物、つや姫おこし、とちあられ、柿チップス、さしみこんにゃくなどの試食品を提供し、来店者とのコミュニケーションを楽しみながら販売していました。

新商品もあり次回、夏の開催も楽しみですね。

高嶺ルビーで蕎麦打ち

2月2日(土)、遊佐町生涯学習センターで、高嶺ルビーを使った蕎麦打ちが行われました。高嶺ルビーは「ピンクの花」を付けるソバですが、「実」は他のソバと変わりません。食べるだけでなく、景観作物としても利用されています。

今回使用したのは、遊佐中学校前の転作田で栽培されたもので月光川土地改良区の役職員が指導し、中学校バレー部の生徒、保護者、教師のみなさんと蕎麦打ちを楽しみました。

生徒のみなさんが一番苦労したのは、最後の仕上げである蕎麦を切る作業のようでした。駒板を定規の代わりにして蕎麦包丁で切りますが、一定の太さでリズムカカルに切るのは難しかったようです。

茹で上がった蕎麦の太さと堅さは色々でしたが、打ちたて、茹でたてだけあってとても美味しくいただきました。



水まわしの後よく練る



なるべく細かく均等に切る



できるだけ均一にのぼす



特製のソバつゆでいただきました



開花した高嶺ルビー



高嶺ルビーの花

※「高嶺ルビー」:信州大学の教授達がヒマラヤから赤い花の咲くそばを持ち帰り、品種改良を行って、「高嶺ルビー」と名付けました。高さが40~50cmほどで、花だけでなく、茎も赤くなるのが特徴です。

大鳥タキタロウ村

2月3日(日)、大鳥タキタロウ村4大イベントの1つ、「冬まつり」が開催されました。参加者約80名、子供達も多く、カンゾキハイキングや雪遊び、スノーモービルなどをしてそれぞれ楽しみました。

この日は天候にも恵まれ、屋外には子供達のはしゃぎ声が響いていました。

実際参加してみると、偶然知り合いの人に会えたり、実は〇〇さんの家の人だったなど、人とのつながりを感じることができますよ。

雪解けまではまだ時間がかかりそうですが、今から春のイベント開催が待ち遠しいです。

春の「山菜祭り」に参加したい方は、

鶴岡市大鳥自然の家 電話0235-55-2946 までご連絡をお願いします。



大鳥地域の積雪はおよそ2.7m、屋根の雪下ろしも6回行い、3年連続大雪との事です。



試食展示即売会のご案内

入場無料！ 試食品多数！

2月24日(日)に鳥海高原ヨーグルトを使った料理レシピコンテストと八幡地域の特産品試食展示即売会が八幡タウンセンターで開催されます。
鳥海高原ヨーグルトをはじめとした八幡地域の特色ある料理、農産物、加工品の試作品、新商品等の試食・即売会です。
入場無料ですので、みなさんこの機会にぜひお越しください。

日時:2月24日(日)午前11時～午後2時

場所:八幡タウンセンター交流ホール

日程:【第一部】料理レシピコンテスト

- 11:00 開会、応募作品紹介
- 11:10 審査会
- 11:35 審査結果発表、表彰式
- 11:45 鳥海山荘とゆりんこの新作ヨーグルトメニュー発表

【第二部】八幡地域の特産品試食・展示即売会

- 12:00 試食と販売開始
- 12:05 特産品紹介
- 12:30 講評
- 14:00 終了(予定)

…案内チラシ…

鳥海高原ヨーグルトを使った料理レシピコンテスト 鳥海山の里・八幡地域特産品試食展示即売会

鳥海高原ヨーグルトをはじめとした鳥海山のイメージを活用した八幡地域の特色ある料理、農産物、加工品等について、その商品企画、試作品、新商品等の展示・試食会です。
一般消費者の評価を確認することで商品のブラッシュアップを図るとともに、販売先の開拓のための地域内外へのPRにより流通業者等とのマッチングを促進しようとするものです。

【出展業者】
鳥海やわた観光株式会社
産直たわわ
産直どんでん畑
八幡町産直きグループ
八森菓子店
金子精肉店 (肉と卵)
特大農産

入場無料・試食品を多数ご用意!!

(一斉)
ご存知、やわた観光の「鳥海高原ヨーグルト」
産直たわわの つきたての「もち」
「お菓子」「漬物」「ジューズ」等加工品
どんでん畑の「マコモタケ炊込みごはん」
八森菓子店の「イスワシの玉子」
しぼりたての「籠餅の餅湯」
※お湯をお取りになる場合は、お菓子の湯はご遠慮ください。

●日時 平成25年2月24日(日) 午前11時～午後2時

●場所 八幡タウンセンター交流ホール

●日程 【第一部】料理レシピコンテスト

- 11:00 開会、応募作品紹介(9:00～料理レシピコンテスト調理開始)
- 11:10 審査会(審判員:食の創作巧み館館長 太田政宏シェフ)
- 11:35 審査結果発表、表彰式
- 11:45 鳥海山荘とゆりんこの新作ヨーグルトメニュー発表

【第二部】八幡地域の特産品試食・展示即売会

- 12:00 試食と販売開始
- 12:05 特産品紹介(各出展者)
- 12:30 講評(審査委員長)
- 14:00 終了(予定)

●主催 八幡地域産直開発・販売促進研究会、鳥海やわた観光株式会社
●後援 山形県庁・山形県庁、石内日産社、酒田工場株式会社
●協賛 鳥海やわた 八幡町産直きグループ(産直たわわ・産直どんでん畑) (八幡町産直きグループ管内)
●お問い合わせ 八幡町産直きグループ(産直たわわ) 電話(04) - 31115 フォックス(04) - 31110
◎ 山形県女性若者雇用促進活動推進協議会活用事業

このイベントには県の「女性若者産業創出事業」*が活用されています。

*「女性若者産業創出事業」とは、地域の資源を活用した加工品等の商品開発やイベントの開催、モニタリングなどにより、新たな産業の創出を目的とした事業です。

八幡地域の特産品

試食品36種類！

「鳥海高原ヨーグルトを使った料理レシピコンテスト」と鳥海山の里・八幡地域特産品試食・展示即売会が2月24日(日)、酒田市八幡タウンセンターで開催されました。

【試食・展示即売会の準備】



レシピコンテストには5名10品の応募があり、食の都庄内親善大使の太田シェフをはじめとする審査員により、最優秀賞1品、優秀賞4品が決定しました。

《最優秀賞》…酒粕香る鶏肉のヨーグルト味噌焼き
《優秀賞》……シフォンケーキ、蜜りんご煮のブルーベリーヨーグルト、ヨーグルトパンケーキ、とろりんこかゆ

【レシピコンテストの様子】



【試食・展示即売会の様子】



試食のコーナーではレシピコンテストの10品の他、鳥海山荘とゆりんこの新作ヨーグルトメニュー26品が振る舞われました。

また、八幡地域内の6団体が加工品等の販売を行いました。

◎出展者：鳥海やわた観光㈱、産直たわわ、産直どんでん畑、大黒屋、金子精肉店、八森菓子店

【試食品の一部です】



- ・蜜りんごゼリーのヨーグルトかけ
- ・花みかんのヨーグルトゼリー
- ・塩ヨーグルトの漬け物



- ・ヨーグルトの生ハム巻きフライとヨーグルトのかにかま巻巻き

今回のイベントは山形新聞と荘内日報にも掲載されました。
地域の特産品PRと販売者とお客さんなどが直接意見交換できるよい機会となりますので、ぜひ来年度の開催も期待したいと思います。
その際はみなさんも足を運んでみてください。

庄内ブロック 農村環境保全指導員研修会

「～地域活動から広がる人と人とのつながり～」

2月28日に庄内総合支庁で農村環境保全指導員の研修会を開催しました。
庄内管内の指導員の方々、行政関係者の他、農地・水保全管理支払交付金、中山間地域等直接支払制度、やまがたの棚田20選に認定されている地元関係者の方々にもご案内したところ、約170名の方に参加していただきました。



〔地域の取組を紹介したパネルも展示〕

鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」の植松館長から、『自然学習の「ほとりあ」と生涯学習の「里仁館」からの報告』と題して講演していただいた後、『木野俣集落における取組』と題して旧温海町の五十嵐指導員から活動紹介をしていただきました。

最後に当日研修会に参加された指導員の方々から、各自の活動についても発表していただきました。



地域活動は個人では限度があるため、「人とのつながり」が特に大切だと思います。
本研修会を通して、各地域の活動を知っていただき、少しでも関係者間のネットワークが広がっていくことを願っています。

酒田市伝統のつるし飾り

酒田商工会議所女性会が酒田市内の旧料亭を借りて、傘福などの作品を展示しています。

時代の流れとともに消えつつあった「傘福」を平成17年度に復活させて、今回で8回目の開催です。



着物など古布で作った飾り999個をつるした新作もあり、とてもきれいです！！
展示は4月3日までということで、みなさんも足を運んでみてはいかがでしょうか。



★商人の町酒田の商売繁盛を願う傘福は、酒田に古くから伝わるつるし飾りで、傘の先に幕をめぐらし飾り物をつるすのが特徴です。

★日本三大つるし飾り
山形県酒田市〔傘福〕
静岡県東伊豆町稲取〔雛のつるし飾り〕
福岡県柳川市〔さげもん〕

めだかライス純米酒

3月15日、庄内町の蔵元佐藤佐治右衛門にて、「めだかライス純米酒」の新酒試飲会がありました。試飲会は今回で7回目になり、めだか米や児童の体験学習に関わっている皆さんが集まりました。

蔵元の佐藤代表に、めだか米についてお聞きしたところ、飯米はもちろん酒造米としても優れているそうです。今年の米は少し堅めで、お酒は例年より淡泊な傾向があるとのことでした。



佐藤代表のあいさつ



会場は蔵元の座敷

試飲会でいただいたのは、まだ発酵途中の原酒でこの日にしか味わえないもの。通常より少しアルコール度数が高めで、仕込み水と交互に飲むように勧められました。

飲み始めは強い感じでしたが、2杯目からは麴の薫りと口当たりの良さで、とても美味しくいただきました。郷土料理の弁慶めしや粕汁もごちそうになり、庄内の食の豊かさを改めて実感しました。



新酒と郷土料理

ところで、参加していた庄内たがわ農協の方に、めだか米の販売状況をお聞きしました。関東、関西方面で大変好評であり値段も高め。米袋には子供達の活動の様子が写真で紹介されており、消費者の共感を呼んでいるそうです。

看板完成！

披露されました。

鶴岡市加茂地区に新しい看板が完成しました。
設置場所は旧加茂中学校近隣の県道沿いです。

今年度看板の設置に向け、地域の方々によるまち歩きやワークショップを重ね、住民の方々はもちろん、加茂水産高等学校の生徒さん達の意見も含めて、東北公益文科大学の院生がデザインしたものです。

3月24日、地元の方々によるセレモニーの後、関係者に披露されました。



みなさんも加茂地区にぜひ足を運んでいただき、ゆっくり散策しながらご覧いただければと思います。